

生権力論研究会第三回（グローバル COE「コンフリクトの人文学」との共催）

「ガブリエル・タルドと生権力」

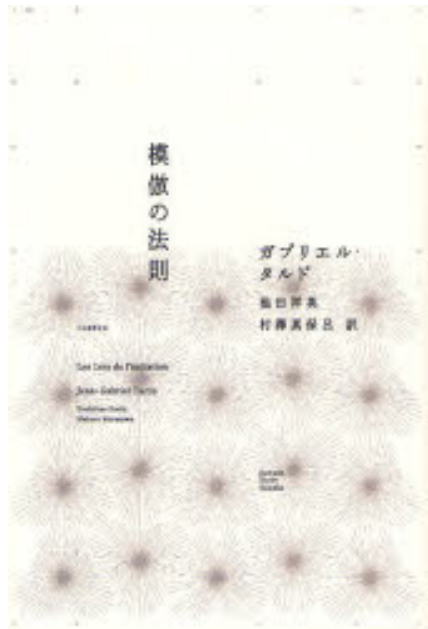
村澤真保呂 龍谷大学社会学部「権力と自然—模倣説の再評価」

京都大学大学院人間・環境学研究科卒 主な訳書『模倣の法則』（共訳 河出書房新社）

主な論文「模倣、あるいは社会の昇華—ガブリエル・タルド「模倣の法則」をめぐって」（『Becoming』）など

中倉智徳 立命館大学大学院生「生権力と知政治—ラッツァラートのタルド論を手がかりに」

立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫制博士課程在籍中 主な論文「発明の力能—ポストフォーディズムにおけるガブリエル・タルド」（『現代思想』）など



日時 1月29日（火）16時から19時

場所 大阪大学人間科学研究科・東館105

ドゥルーズやラッツァラートに影響を与えた

孤高の社会学者ガブリエル・タルド

発明と模倣、差異と反復、生政治、生権力の思考

お問い合わせは 大阪大学大学院人間科学研究科人間学 檜垣研究室まで